横浜川崎国際港湾株式会社
代表取締役社長　人見　伸也

**＜CPPI2020 における横浜港世界一獲得に際して＞**

このレポートでは全世界 351 のコンテナターミナル（CT）が評価の対象となっており、横浜港が世界一と評価されています。

横浜港が、荷役が早く、コンテナ船の停泊時間が短くすむ、世界で最も効率的な CT であると評価されているということは、ユーザーである船社、荷主へ世界一のサービスを提供できているということであり、当港の CT を管理運営する当社として大変光栄なことです。

これは、港湾整備にご尽力いただいた、国、市、並びに、港湾の現場力を発揮されている港運会社各社、水先案内人をはじめ関係者のみなさまの日頃のご尽力の賜物です。みなさまに敬意を表するとともに、みなさまとこの喜びを分かち合いたいと思います。

従来、世の中にはコンテナターミナルの「質」の優劣を評価する指標は存在せず、比較する指標として唯一あったのは、コンテナ取扱量という「量」の指標だけでした。

今般、コンテナ港の「質」を評価する指標が、権威ある機関によって確立されたことは大変意義のあることと思います。

ダニエルヤーギンは、「効率と節約」は第 5 のエネルギー源と述べていますが、これらも地球温暖化対策には地味だが欠かせない重要なものです。効率の良い港であることは環境にやさしい港ということでもあります。今後取り組んでいく国のカーボンニュートラルポート政策とあわせて、横浜港の、集貨、創貨、競争力強化の推進力の両輪としていきたいと思っています。